

阪南市
阪南市デジタル田園都市構想総合戦略
(第3期阪南市総合戦略)
【2025年度～2029年度】

2025年(令和7年)3月
編集・発行：阪南市未来創生部 成長戦略室
〒599-0292大阪府阪南市尾崎町35-1
Tel 072-471-5678(代)

阪南市 デジタル田園都市構想 総合戦略

概要版

(第3期阪南市総合戦略)
【2025年度～2029年度】



本戦略の背景と趣旨

本戦略の趣旨

本市において少子高齢化や人口減少が進展しており、これまでも「阪南市人口ビジョン」および第1期・第2期の「阪南市総合戦略」に取り組んできました

国の「デジタル田園都市国家構想総合戦略」や大阪府の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」、本市の総合計画などとの整合を図りつつ、人口ビジョンによる本市の人口に係る将来展望を実現するための2025年度から2029年度までの戦略として、本戦略を策定します

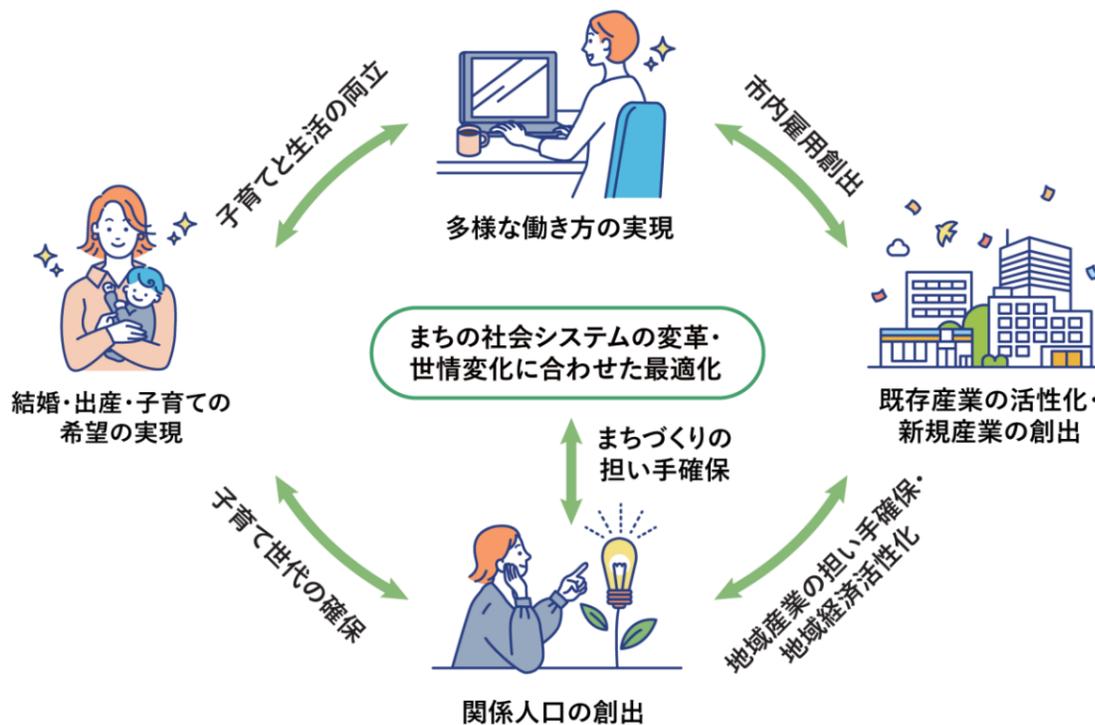
本戦略の背景と課題

若年層の就学・就職に伴う転出増加や子育て世代の転入減少、出生数の減少および高齢化に伴う死亡者数の増加によって本市の人口は減少傾向となっています

人口減少から生活関連サービス、地域公共交通の縮小やまちづくりの担い手の不足、空家・空地・空店舗・遊休農地などの増加、行財政運営の難化が懸念されます

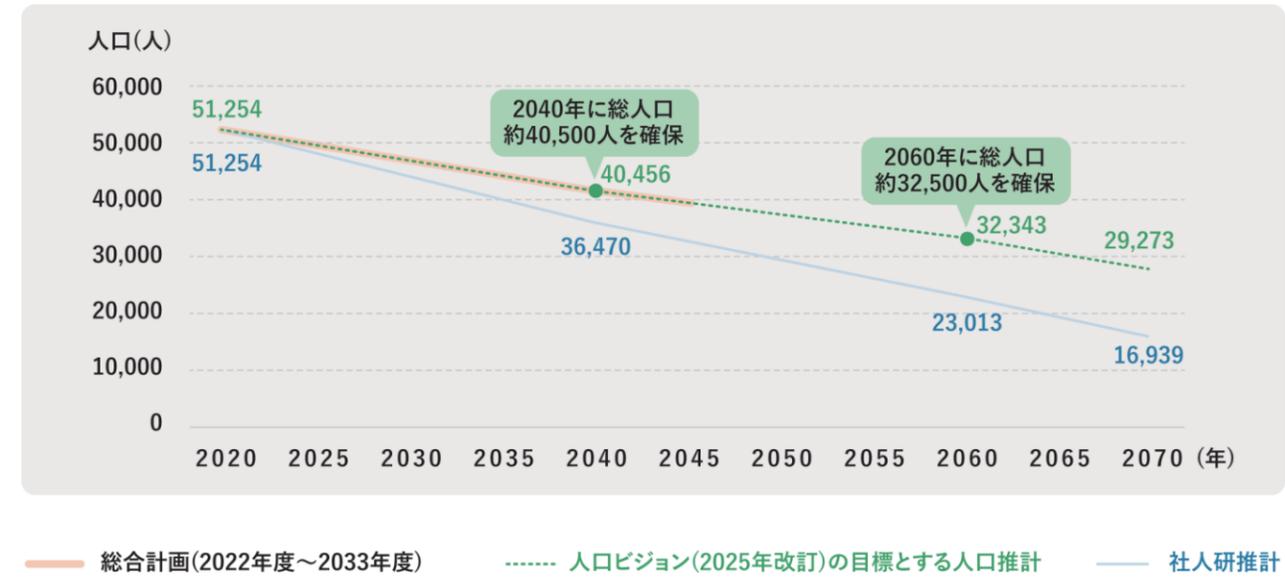
人口減少を抑制するために、本市の強みである自然環境・ゆとりある居住環境などを活かすとともに、結婚・出産・子育ての希望を叶え、仕事や生活との両立の不安を解消することが必要です

本戦略で取り組むべき要素



人口推計と目標とする人口

若者世代や子育て世代の転出抑制・転入促進や、阪南市民の理想とすることの人数を段階的に叶えることで、2040年に約40,500人、2060年に約32,500人の人口を確保することを目標とします。



デジタル技術の活用

各基本目標の達成に向け、国・大阪府の取組と連携しながら、デジタルの力を活用するとともに必要な基礎条件整備に取り組めます

【本市が取り組む基礎条件整備】

デジタル基盤整備

- マイナンバーカードの活用・行政手続きのオンライン化による市民の利便性向上
- マイナポータル・ORDEN・my door OSAKAなど国や大阪府と連携したデジタル基盤整備
- Web3.0 (NFTや DAOなどのブロックチェーン技術)や高度な AIの活用

デジタル人材の育成・確保

- DXリーダーの配置・デジタルを活用した業務効率化に関する研修実施
- AIや先進技術を活用した施策を立案・実施できる人材の育成

誰一人取り残さないための取組

- スマホ相談員の養成・相談会の実施
- SNSツールの活用・デジタルデバイスに配慮した情報発信

本戦略の要点

本戦略では、市民自身が成果を実感できるように、市民や事業者などがまちづくりの主役として、『ONE ACTION』を起こし、市はその挑戦を生み出す仕掛けをつくり、挑戦を後押しするという考えで取り組みます。

本戦略の着眼点

『私のONE ACTION』を生み出す仕掛けをつくる



やる気の伝播・波及により

『私のONE ACTION』マインドを醸成し、
異分野・異文化の共創を生み出す

市は市民や事業者などそれぞれが、まちづくりを担う一員として、自らの能力を活かして主体的に活動・挑戦するための仕掛けを作り、さらにプラットフォームビルダーとして各主体の協働・共創を生み出す。市外で先進的に取り組む人や専門家からの刺激を与えることで、『私のONE ACTION』を後押しし、新技術やデジタル技術も活用しながら既存の手法や慣習に捉われない変革マインドをまち全体に醸成する。

主な施策内容

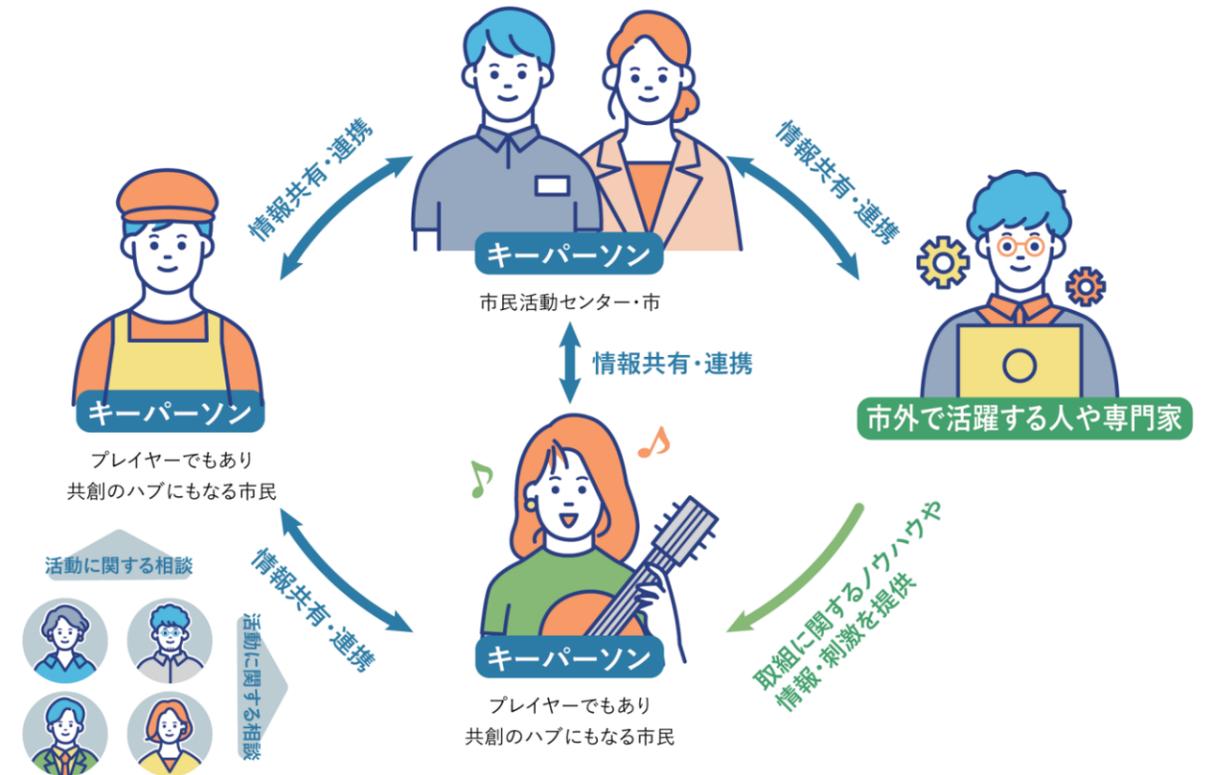
活動や共創が生まれるための仕掛けづくり

- 市民の自主的な活動を生み出し、共創につなげるための仕掛けの見直しと再構築
- 社会教育をきっかけとしたまちづくりの担い手の育成
- 市外の活動者や外部専門家の招聘による市民や事業者の活動意欲向上のきっかけづくり
- テーマごとに関心のある人同士によるチームづくりの促進
- 地域ごとの課題に沿ったエリアマネジメントへの取組を後方支援

重点施策

はんなんONE ACITONプラットフォーム

取組イメージ 市民活動センターの役割やあり方を見直し、ハブとなって協力しながら共創を生み出す人材の発掘・育成に取り組み、活動したい人や活動を支援したい人が共創するためのプラットフォームづくりに取り組みます。また、市外の先進的に活動している人や専門家を招聘し、刺激を提供することで市民の『私のONE ACTION』を生み出します。



市民活動やコミュニティビジネスへの
チャレンジを創出・ハブとなるキーパーソンの育成

私のONE ACTIONが 魅力的なまちをつくる

最終的に、『私のONE ACTION』が、結婚、出産、子育て、就労などの希望を叶えたり、事業や活動に挑戦することで人を呼び込み、地域を活性化(再起動)し、魅力的なまちをつくっていくことで、更なる交流人口・関係人口を創出していきます。

それぞれのキーパーソンを中心に、市民の行動変容を促しつつ、活動したい人を巻き込み、各重点施策の実現に向けて取り組みます。

市内・市外から本市で活躍したい人が参画し、自ら担い手になって『私のONE ACTION』を生み出し、それぞれが自律的に活躍するきっかけを得る場として、「はんなんONE ACTIONプラットフォーム」の形成に取り組みます。まずは、キーパーソンを発掘し、市内外で活躍する人や専門家から刺激やノウハウの提供を受けながら、自らが主体的にONE ACTIONを行う仕掛けをつくります。



遊びの場・憩いの場・集いの場

店舗創出・集積

地域のしごとづくり

里山・里海をキーにしたシビックプライドの醸成、交流人口・関係人口の創出



私のONE ACTIONを実現するため、
それぞれがキーパーソンとなりチームづくりをしていく

はんなんONE ACTIONプラットフォーム

(自律的に活動に取り組みたいキーパーソンが参画)



コミュニティデザイナー

チャレンジャー

ボランティア

インフルエンサー

ネイチャーラヴァー



市外で活躍する人や専門家の招聘により刺激やノウハウを提供

重点施策

みんなの「自分らしさ」で創る遊びの場・憩いの場・集いの場プロジェクト

取組イメージ

公共施設、空家などを活用し市民同士でモノやコトを持ち寄り、つくりあげる遊びの場、憩いの場、集いの場づくりに取り組みます。子育て世代を中心として多世代の助け合いのコミュニティを形成します。子育ての先輩に相談したり、アドバイスをもらうことで、子育てや生活の不安を解消し、親としても成長できる仕組みづくりに市民と一緒に取り組みます。

みんなの「自分らしさ」で彩る遊びの場・憩いの場・集いの場

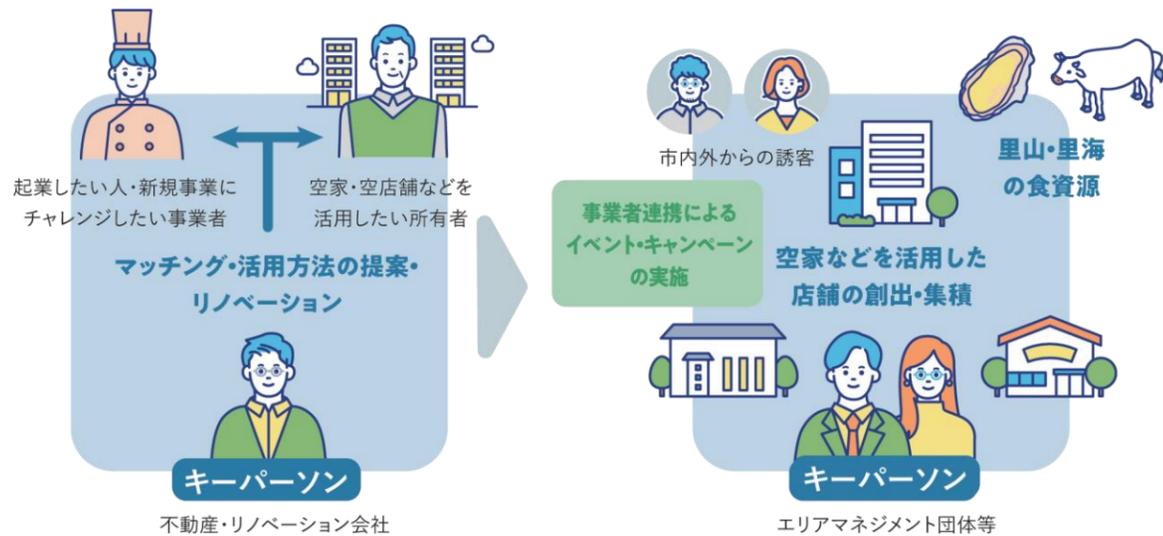


重点施策

空き(あき)で商い(あきない)プロジェクト

取組イメージ

空家・空店舗などの所有者とチャレンジしたい事業者を、不動産関連事業者などと連携してマッチングすることで、店舗を創出します。エリアマネジメントにより、店舗を運営する事業者同士の連携の活性化や里山・里海の食資源を活用した独自性のあるメニュー開発などにより市内外から誘客し、地域の活性化を図ります。

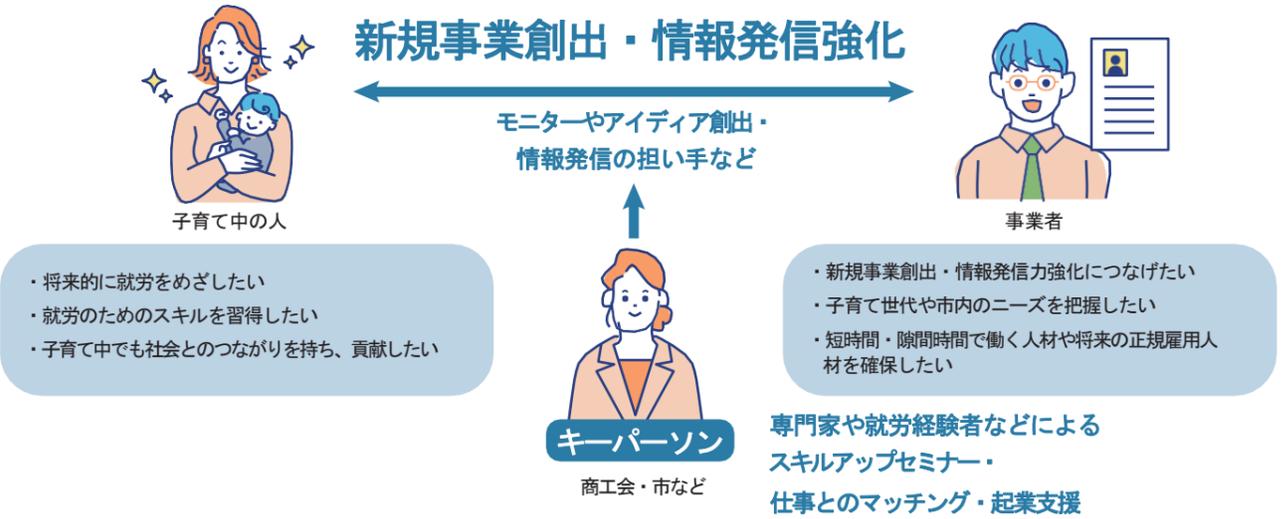


重点施策

子育て×企業コラボで地域のしごとづくりプロジェクト

取組イメージ

子育て中で将来的に就労したい人や、短時間や隙間時間で働きたい人と雇用したい事業者をマッチングします。また、事業者にとって、新規事業開発におけるモニターとしての活用や人材確保にもつながるように取り組みます。将来の正規雇用をめざす人にはスキルアップ講座も併せて提供します。



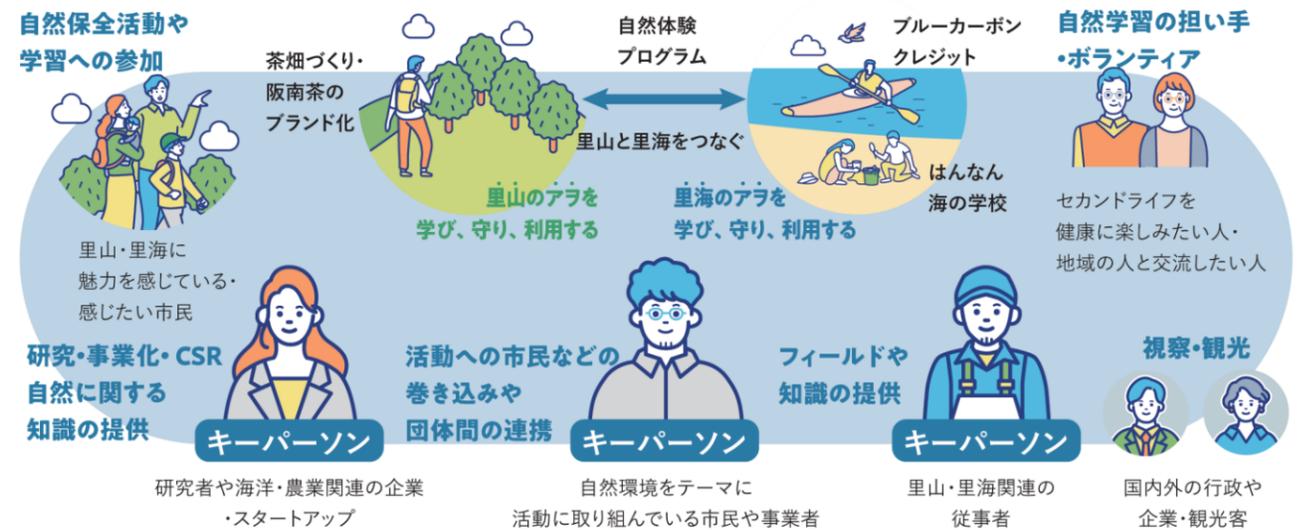
重点施策

「わたしの人生をアラで彩り」プロジェクト

取組イメージ

市民の全世代に対して里山・里海をフィールドに体験を通じた学びを提供し、自然に対する意識やシビックプライドを醸成します。また、市民や里山・里海関連の従事者、事業者、研究者などと連携し、自然学習や里山・里海の整備や活動の担い手として育成します。独自性のある取組を効果的に発信することで交流人口や関係人口を創出します。

山を愛でる日・海を愛でる日をつくり各取組を効果的に発信



里山の緑と里海の青を、本戦略では「アラ」と表現しています。

基本目標 1

結婚・出産の希望を叶え、ワークライフバランスを保ち、 こどもも親も成長でき、育ちあう子育てを実現する

基本的な方向性

子育てを楽しみ、こどもと一緒に成長でき、育ちあう仕組みや、地域の人同士がお互いに子育てや日々の生活を助け合える仕組みを市民や事業者とともに構築する。結婚・出産・子育てや生活との両立への不安を解消することにより、それぞれの希望を叶える。

結婚の希望を叶える

- 結婚や住宅購入など生活にかかる資金面の支援
- カジュアルな出会いの機会の創出

出産の希望を叶える

- 早い時期から子育てを考える機会の提供
- 子育て世代や先輩からアドバイスやサポートが受けられる仕組みづくり
- 希望の人数を出産するための不妊治療や家事のサポート支援

子育ての希望を叶える

- みんなでつくる遊び場・憩いの場・集いの場
- 保育士や幼稚園教諭の人材確保
- 子育てにかかる費用軽減の支援
- 子育て拠点の再構築
- こどもの個性を輝かせ自己実現をはかる教育の実施、ハード・ソフト両面からの教育環境の整備

基本目標 2

産業を創出・発展させ、 地域雇用とつなげる

基本的な方向性

事業者が成長に向けて活発に事業実施したり、市民等が起業して産業創出に挑戦できるような仕組みを構築する。また、短時間・隙間時間就労など地域の多様な雇用とつなげる仕掛けをつくる。地域の食資源等を活かした商品造成や地域消費の促進により地域経済の活性化に取り組む。

就労の希望を叶える

- 企業と柔軟な働き方を希望する就労希望者や子育て中の女性などとのマッチング
- 子育てからの再就労に向けてのキャリア設計やスキルアップの支援

市内消費の促進

- 市内消費を促進する地域ポイント制度の仕組みづくり
- 『匠のippin』を軸にした地域産品や『美食ブランド KUU』の認知度拡大

既存事業者の事業拡大支援

- ふるさと納税3.0による特色ある商品創出
- インバウンド客への消費拡大・海外向けの販路開拓支援
- 異業種交流会などの事業者同士のマッチング機会の創出

新規事業者の誘致・起業促進

- 空店舗・空家・空地・遊休農地の所有者と事業や活動したいのマッチング
- 農福連携などの異分野連携による事業実施・新技術を活用し取組の促進
- チャレンジショップや起業にあたっての相談・スキル取組支援、スタートアップ企業などの誘致・事業への協力

基本目標 3

里山・里海に関わり、訪れ、住みたくなる魅力をつくり、 国内外の交流人口・関係人口を生み出す

基本的な方向性

里山・里海の保全や学習を通じて市民がシビックプライドを育み、市外や海外の人にも自然とともに生きることの大切さを市民や事業者が自ら発信し、来訪や活動に結びつけることで自然をキーとした交流人口・関係人口創出に取り組み、移住促進にもつなげる。また、観光客の来訪と地域消費を結びつける。

シビックプライドの醸成

- こどもの頃からの里海・里山を活用した自然教育
- 自然学習や体験学習プログラムの担い手の育成・創出
- 市民主体・巻き込み型での里海・里山の保全・整備

観光振興、にぎわい創出

- せんなん里海公園の利活用や山中溪などの観光拠点の整備や活用による観光商品の造成
- OTAなどと連携した海外への観光商品の販路開拓
- 自然の取組や歴史について説明できる観光ボランティアガイドの育成

交流人口・関係人口の創出、移住促進

- 自然保全の取組と地場産品を組み合わせた有料視察パッケージの造成
- お試し移住プログラムの造成
- 市民へのインナープロモーションによる阪南ファンづくり・マイクロインフルエンサー化
- 移住者を軸に据えた本市での生活の魅力のプロモーション
- 空家を活用した移住促進
- 在留外国人や訪日外国人の受入態勢づくり

基本目標 4

安全・安心・健康にそれぞれが生涯活躍し 住み続けたくなるまちづくりに取り組む

基本的な方向性

市民や事業者の防災・防犯意識の向上を図り、自主的な活動の促進により、激甚化する災害への対応を行う。歩く文化の形成等により市民それぞれが心身ともに Well-Being な状態で挑戦できるような仕掛けを作る。生活のために必要な移動がしやすいまちづくりに取り組む。

安全・安心なまちづくり

- VRなどのICT技術を活用した防災教育
- 健康増進や社会貢献、地域との関わるきっかけづくりと絡めた防災活動の主体づくり
- 再生エネルギーの導入や環境に配慮した施設・設備への転換

健康づくり

- 特定健診やがん検診の受診勧奨
- 健康無関心層への健康増進につながる活動のきっかけづくり
- ICT技術や先進技術を活用した個人最適化された健康プログラムの提案
- 健康づくり自主グループの創出促進

移動しやすいまちづくり

- ライドシェアや新モビリティ、市民同士の共助での移動支援など、最適な移動支援策の検討・取組
- 既存の公共交通の充実に向けての検討・取組
- 歩く文化醸成のために必要な道路環境の整備